



VOLUME

26

2020年
10月発行

介護老人保健施設 リハスタッフ

連携だより

地域医療機能推進機構 群馬中央病院

JCHO Japan Community Health care Organization

理念・基本方針	02
センター長ごあいさつ	03
介護老人保健施設の紹介	04

外科～大腸がんについて～	06
救急医療カンファレンス	07
外来診療担当医一覧表	08



群馬中央病院の基本方針

人権の尊重と人間愛を基本とした医療・介護を行い、地域の方々の健康と福祉の増進に寄与する。

地域医療・地域包括ケア・介護の連携の要として、超高齢化社会における多様なニーズに応え、安全・安心・信頼を要とした医療と介護を提供する。

地域の医療・福祉機関との連携を密にし、地域医療における中核病院としての使命と役割を担う。

透明性が高く自立的な運営のもと、常に医療・介護水準の向上に努める。

ごあいさつ

■ 院長兼地域医療連携センター長

内藤 浩



新型コロナウイルス感染症が蔓延し、地域医療に大きな影をおとします。

当院では、9月から新型コロナウイルス用PCRの機械を導入し、院内で判定できる体制を整えることができました。これにより、発熱している患者さんはもとより、妊婦さんや手術を控えた患者さんにも迅速に検査を行えるようになり、来院者や職員の院内感染のリスクを大きく下げることができました。現在、検査試薬の供給の問題があり、適応範囲は限定されていますが、試薬の供給は次第に解決されると思われ、また、来春には機械の増設も決まっており、地域のニーズに応えられる検査体制にしてまいります。

今回の連携だよりは、介護老人保健施設の紹介を入れさせていただきました。コロナ感染下での老人施設の運営は神経を使うところではありますが、今後の超高齢化社会のなかでどうしても発展させていかなければならぬ分野です。今までわたくしたちが構築してきた医療連携と同じ重みで、介護・福祉、在宅の地域連携も構築していく必要があります。わたくしたちの独法「地域医療機能推進機構」の使命でもあり、今後さらに地域のつながりを強めていきたいと存じます。

本号ではまた、救急隊との連携についても特集させていただきました。当院の救急患者の受け入れは年々増加しており、特に救急車の応需率は今年飛躍的に改善しています。地域の基幹病院として、救急から在宅までの幅広い機能を充実させ、少しでも地域の住民、そして連携いただく先生がたのお役に立てる組織にしてまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

介護老人保健施設の紹介

附属介護老人保健施設は、家庭での日常生活に不安のある方、認知症のある方に支援・介助をしながら、家庭で自立した日常生活が送れるようにリハビリを行うための施設です。

当施設は、「明るく家庭的な雰囲気で」を基本方針として、地域と手をつなぎ、信頼・愛される施設づくりをめざし、利用者やご家族の皆様に満足いただける介護サービスの提供に努めています。



長期・短期入所

<対象となる方>

- ・長期入所／要介護 1～5
- ・短期入所／要支援 1・2、要介護 1～5

▶ 1日の流れ



<利用内容>

- ・長期入所にて介護サービスが受けられます。
- 3ヶ月毎の入所継続検討を行い、入所期間を決定します。
- ・短期入所（ショートステイ）にて介護サービスが受けられます。
- ご自宅から短期間のご利用ができます。
- ・送迎サービス（短期入所のみ）

通所リハビリ

<対象となる方>

- ・要支援 1・2／要介護 1～5

▶ 1日の流れ



<利用内容>

- ・通所にてリハビリテーション、食事、入浴などのサービスが受けられます。（1日／6～7時間）
- ・送迎サービス

リハビリテーション

「リハビリテーション」とは「その人らしい生活が送れるようになる」という意味を持つと考えています。私たちは、利用者さまが生活の中で“楽しみ”を見出し、“役割”を担えるよう促すことで「その人らしい生活」が送れるようになることを支援しています。



生活に根差したリハビリのために…

<居宅訪問>

ご自宅への居宅訪問を積極的に行っています。利用者さまが普段どのように生活されていて、生活のどのような部分に困っているのかを確認した上で、リハビリのプログラムを立案します。



<多職種によるアプローチ>

施設には理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が常駐しています。それぞれの得意分野から、利用者さまの幅広いニーズにお答えします。



こんな行事もやってます～♪

今年はコロナ……調理レクを中心に……



スイカ割り



プリンづくり



農園での
収穫作業



問い合わせ先

独立行政法人 地域医療機能推進機構 群馬中央病院附属介護老人保健施設

TEL 027-221-2011 FAX 027-220-5219

<http://gunma.jcho.go.jp/>

大腸がんの外科手術

大腸がんの治療として根治を目指すためには切除が第一選択となります。転移の可能性の低い早期がんでは内視鏡的切除で治癒が期待できますが、それ以外は外科手術が必要です。早期大腸がんのみならず進行大腸がんに対しても腹腔鏡手術が広く行われています。当科では年間約100件の大腸がん手術を行っており、ここ数年は大腸切除術の95%以上が腹腔鏡下手術となりました。盲腸から肛門まですべての部位の全病期の大腸がんを腹腔鏡手術の適応としています。術後合併症発生頻度などの安全性やがんの治療の点において開腹手術に劣らない良好な成績をおさめています。

腹腔鏡手術は、創が小さく整容性にすぐれ、痛みが少なく早期回復が期待できるといった短期的な利点が注目されがちですが、拡大視効果により開腹手術に比べて細かい手術が可能であり、長期的に見たがん治療の観点からも大きなメリットがあります。治療の侵襲が少ないと自体もがん治療の成績向上に寄与すると考えています。

reduced port surgery・単孔式手術・細径鉗子

大腸がんに対する腹腔鏡手術では、5個の切開創が標準的です。当科では以前から右側大腸がんでは切開創3個、S状結腸がんの一部の症例では切開創4個で手術を行ってきました。症例によっては、更に創の数を減らした reduced port surgery、臍部の創1個の単孔式手術も適応とされています(図1)。これらの手術は操作鉗子の数が減るために従来の腹腔鏡手術に比べて手術の難易度が高くなります。令和元年からは通常5mmの創で手術する部位に、見えないほど小さい2mmの創で使用可能な細径鉗子を使用することで、手術操作の難易度を変えずに低侵襲な手術を目指しています(図2)。



図1

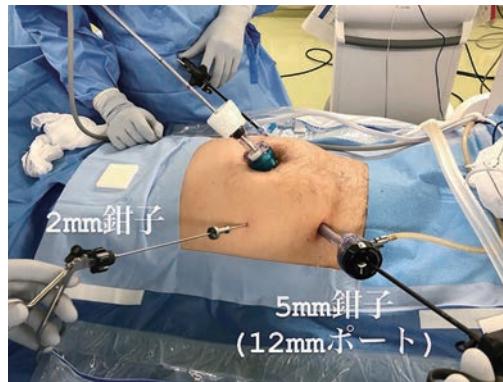


図2

経肛門的全直腸間膜切除術(TaTME)、 経肛門的内視鏡下手術(TAMIS)

骨盤が狭い男性や腫瘍が大きな症例の下部直腸がん手術では、従来の腹腔鏡手術で操作が困難となる部位があります。この問題点を解消するため、県内の他施設に先駆けて経肛門的全直腸間膜切除術(TaTME)を開始しました(図3)。単孔式手術で使用する機器や手技を応用して経肛門的に鏡視下操作で直腸周囲の剥離を行う方法で、通常の腹腔鏡操作にあわせて行うことにより直腸がんの治療成績向上に寄与すると期待されます。内肛門括約筋切除といった肛門温存術の際にも有用です。

局所の切除により治療可能な早期がんに対する治療として、通常の内視鏡的切除が困難な下部直腸がんでは直視下に経肛門的腫瘍切除が行われていましたが、経肛門的鏡視下手術で腫瘍切除を行うことで、より良好な視野での手術が可能です(TAMIS)。



図3

◆地域の先生方へのおねがい

大腸がんは早期に発見して治療すれば治癒可能な疾患ですが、早期には症状はなく、進行がんにおいても特徴的な症状はありません。無症状でも定期的な検診をすすめていただくとともに、がんを強く疑う症状や既往・家族歴がなくとも消化器症状のある患者さんには精査目的にご紹介いただきたく存じます。

救急医療カンファレンス

当院で第1回目となります救急医療カンファレンスを開催しました。

この会は、地域医療従事者と郡市消防局の救急救命士、救急隊員、当院職員が、症例報告を通して検討することで、今後の連携をより強化することを目的としています。

搬送前から病院到着までを消防局の方、搬送後の治療経過・病状説明を当院医師がリレー形式にて講演し、1症例ごとに意見交換しました。

今回は、外科で腹部救急の症例を対象としましたが、今後はアンケート結果を参考に、様々な診療科・症例でのカンファレンスを開催して行きたいと考えています。

司会：群馬中央病院 地域医療連携センター長補佐 谷 賢実
座長：群馬中央病院 外科主任部長 福地 稔



症例検討：『～救急搬送された急性腹症の症例～』

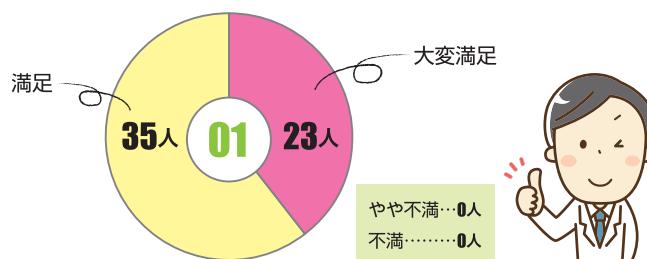
第1部 消化管穿孔（十二指腸）
第2部 絞扼性イレウス（高齢者）



講演：『当院の救急搬送患者受入れの現状』

演者：外科部長兼地域医療連携センター長補佐 谷 賢実

カンファレンスの内容は満足のいく内容でしたか？



// 参加者のコメント //

● 搬送救急隊に対しての要望（病院連絡時の情報等）がありましたら共有したいと思います。

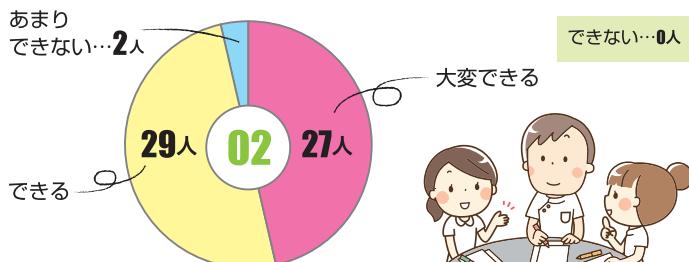
● 症例説明後の疾患についての説明がわかりやすかったです。

● 今後についても、このようなカンファレンスを開催し連携を図っていきたい。

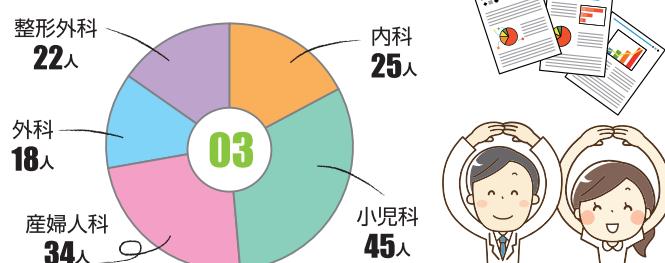
● 腹部の触診・聴診方法について、スキルレクチャーがあれば救命士はあります。

● 小児科か産婦人科の検討会を開いている病院は少ないので、ぜひお願いしたいです。とてもよい空気感で進行していただけました。またよろしくお願いします。

内容は、業務や研鑽に活用できますか？



参加したい検討会の対象診療科



JCHO群馬中央病院 外来診療担当医一覧表

027-221-8165

受付時間:午前8時~午前11時(耳鼻咽喉科のみ、午前10時30分までの受付)、休診日:土曜、日曜、祝日、年末年始(12/29~1/3)

2020年10月1日

診療科・曜日		月	火	水	木	金	
内 科	総合内科 (初診)	午前	齋藤	小保方 阿久澤	今井 阿久澤	北原(陽)	
	一般(予約)	午前		阿久澤 大山	田嶋 阿久澤	今井(循環器) 田嶋	
	循環器内科(予約)	午後	今井(循環器) 田嶋	北原(陽)(循環器)	今井	大山	
		午前	羽鳥 吉田 田村(不整脈 2・4週)	羽鳥	吉田	須賀	
	呼吸器(予約)	午後		須賀		羽鳥	
和漢診療科		午前	小暮	相川	解良	小池	
		午後	小暮		小暮(リウマチ)	小暮	
神経内科(予約)		午前	大沢	菅原		大沢	
		午後	金子	菅原	大沢		
消化器内科	初診	午前	堀内	田原		湯浅	
	予約	午前		小川	堀内 小川	湯浅 堀内	
		午後			田原	岡村	
糖尿病センター(予約)		午前	根岸 須賀	根岸 有山		根岸 登丸	
		午後		フットケア		根岸	
小児科	一般	午前	河野 田代	須永 田代	水野 田代	須永 橋本 田代	
		午後(予約)	春日(神経・専門) 橋本(神経・専門)		田代(循環器) 高橋(専門 1・3・5週) 新井(専門 2・4週)	田代(循環器)	
	小児外科			山本(午前)		迫(神経・専門)	
	神経発達(予約)	午前	須永		須永		
		午後	須永	須永	須永	須永	
	アレルギー(予約)	午前				水野	
		午後	水野		水野	水野	
	腎 臓(予約)	午後			高木	岩脇	
	発達フォロー(予約)	午後		河野	河野	河野	
	乳児健診(予約)	午後		岩脇 高橋			
外 科	一般・消化器	午後		春日 坂本			
		午前	内藤 深澤 田部	福地 谷 岩崎 調(肝・胆・脾) [紹介のみ]	福地 斎藤 西川 阿部(心臓血管外科)	内藤 深澤 渡辺(肝・胆・脾)	
	乳腺・甲状腺 (紹介)	午後(予約)		山口 (脳神経外科14:00~)		大瀧(呼吸器外科) 長嶋(緩和ケア外科)	
		午前				矢島	
		午後	藤井(14:00~16:00)				
整形外科		午前	寺内(膝) 堤(脊椎) 中川(脊椎) 中島(脊椎) [紹介のみ]	寺内(膝) 畑山(膝) 中島(脊椎) 下山	中川(脊椎) 畑山(膝) 下山	堤(脊椎) 中川(脊椎) 中島(脊椎)	
		午後(予約)				寺内(膝) 畑山(膝) 堤(脊椎) 下山	
						畠山(第1・第3金曜日)	
産婦人科	一般	午前	伊藤 金井	内山 伊藤(8:30~10:00)	太田 矢崎	伊藤(不妊不育) 太田 周藤	
		午後(予約)	太田(検査)	金井 手術	太田 矢崎(産後)	伊藤(術前)	
	妊婦健診	午前	周藤	安部	(8:30~10:00) 田中 (10:00~) 伊藤	矢崎	
		午後(予約)	周藤		(13:00~14:30) 伊藤	篠崎(ハイリスク)	
眼 科		午前	前嶋	前嶋	前嶋	前嶋	
耳鼻咽喉科(予約)		午前	工藤 内山	工藤 内山	工藤 [紹介のみ] 内山 [紹介のみ]	工藤 内山	
		午後	検査	内山(嚥下) 竹越	検査 塚田	内山(嚥下)	
麻酔科		午前	大川	川崎	富岡	高橋	
皮膚科		午前	龍崎	龍崎	龍崎	龍崎	
泌尿器科		午後(予約)			龍崎		
歯科(予約)		午前・午後	平林	平林	平林	平林	

【ご案内】

- ①医療機関等からの紹介状をお持ちの方は、できるだけ事前に予約して頂くようお願いします。
- ②一部の診療科については予約制、紹介型外来等を行っております。
- ・予約制外来 原則、午後は和漢診療科以外の診療科は予約制となっています。終日予約(神経内科、耳鼻咽喉科、歯科、禁煙外来)
- ・紹介型外来 乳腺・甲状腺(月曜日の午後・木曜日の午前)、耳鼻咽喉科(木曜日の午前)、脳神経外科(火曜日の午後)
- ③その他 消化器内科は、水曜日と金曜日は予約外来のみとなっております。

整形外科は、月曜日と金曜日の初診受付については、紹介状持参患者のみとなっております。
総合内科は、初診・紹介状持参患者のみとなっております。

緩和ケア(精神科)は、他科からの紹介患者のみ外来診療を行っております。第1・3・5週の木曜日の午後
第2・4・6週の金曜日の午後

※詳細についてはホームページをご確認下さい。

診察・検査の予約お問い合わせは地域医療連携室へ

受付時間
8:30~18:00
土・日・祝日は除く

TEL 027-223-1373 [直通]
FAX 027-223-1374 [直通]

独立行政法人 地域医療機能推進機構



群馬中央病院

〒371-0025 前橋市紅雲町1丁目7番地13号 TEL 027-221-8165 FAX 027-224-1415

ホームページ <http://gunma.jcho.go.jp/> フェイスブック <https://www.facebook.com/gunmatyoubouyouin/>

